

香取市
後期基本計画策定のための
基礎調査報告書
(社会指標分析編)

目 次

■社会指標分析の概要

1	社会指標分析の目的について	1
2	調査・分析の結果	2
(1)	基本目標1 豊かさが実感でき、活力ある産業を育むまちづくり	2
(2)	基本目標2 人と自然が共生し、快適で安心して暮らせるまちづくり	3
(3)	基本目標3 住み慣れた地域で、誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくり	10
(4)	基本目標4 歴史と文化に包まれて、心豊かな人を育むまちづくり	14
(5)	基本目標5 緑の中で、便利で暮らしやすい機能が充実したまちづくり	17
(6)	基本目標6 人と自然が共生し、快適で安心して暮らせるまちづくり	20

■社会指標分析の概要

1 社会指標分析の目的について

総合計画の策定にあたっては、香取市の強み・弱みなどの地域性を正しく把握し、課題を抽出することが重要となります。そこで、香取市の特徴を、具体的な数値で定量的・客観的に把握するために、各種の統計データに基づき算出した指標を類似団体、近隣団体等と比較分析しました。

今回、比較対象としたのは、香取市の近隣に位置する5市であり、内訳は千葉県内の成田市、匝瑳市、旭市、茨城県の稲敷市、神栖市としています。

今回の分析において使用した社会指標は、地方自治体の広範の状況を網羅する約150の指標であり、それを総合計画の6つの基本目標ごとに分類しています。なお、一部の社会指標は、各市の人口規模の影響を大きく受けるため、総数に加えて、人口に対する比率や一定人口あたりの数等を用いて比較分析を行っています。

2 調査・分析の結果

(1) 基本目標1 豊かさが実感でき、活力ある産業を育むまちづくり

「基本目標1 豊かさが実感でき、活力ある産業を育むまちづくり」に関連する指標の調査の結果、以下の指標について、香取市の特徴が表れました。

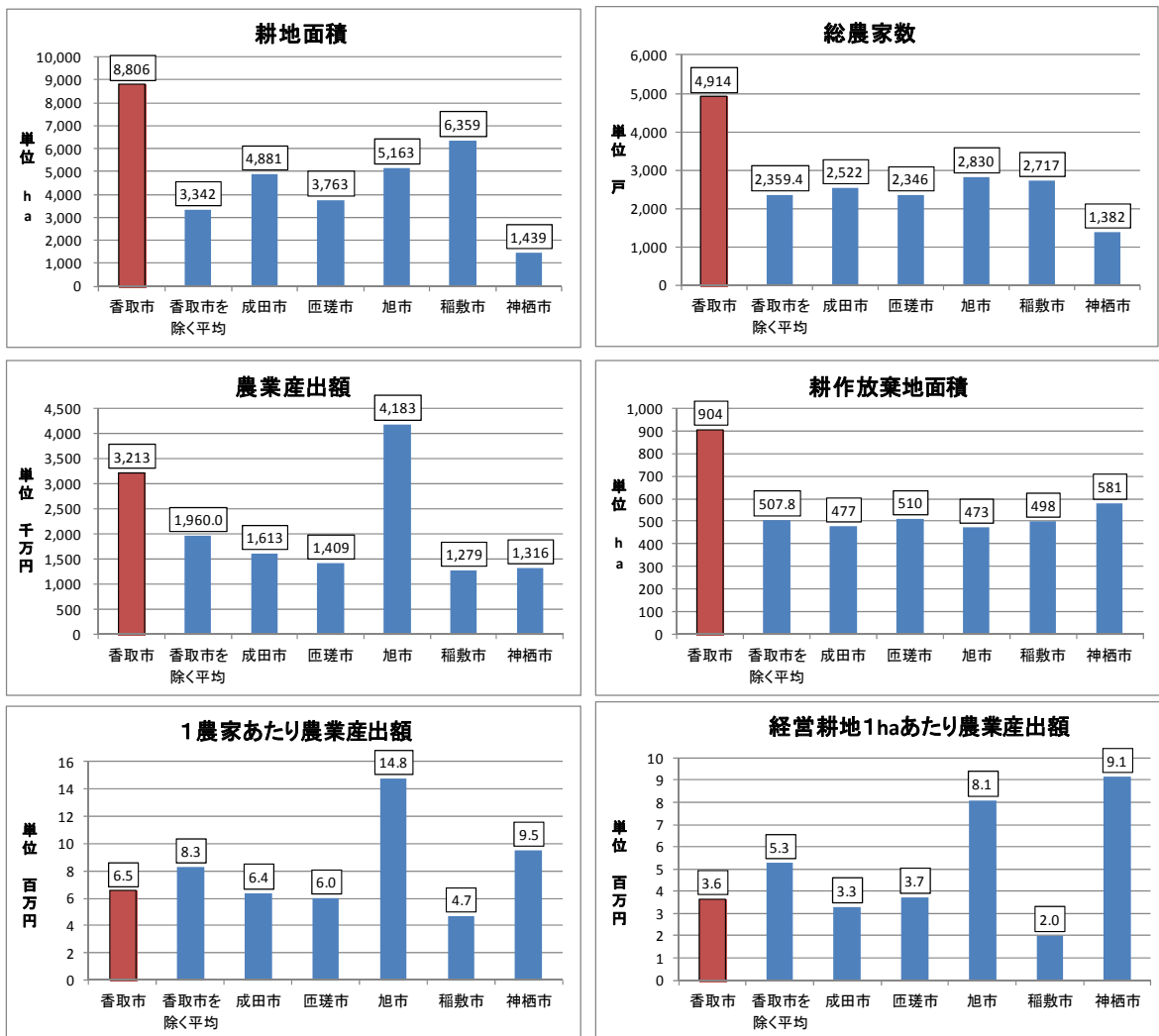
【香取市の特徴が表れた指標】

- ① 耕地面積
- ② 総農家数
- ③ 農業産出額
- ④ 耕作放棄地面積
- ⑤ 1農家あたり農業産出額
- ⑥ 経営耕地 1ha あたり農業産出額
- ⑦ 製造業事業所 1事業所あたり製造品出荷額等
- ⑧ 製造業 1従業者あたり製造業粗付加価値額
- ⑨ 事業所 1箇所あたり商業年間販売額
- ⑩ 商業従業者 1人あたり商業年間販売額
- ⑪ 可住地面積 10km²あたり小売店数（飲食店を除く）
- ⑫ 可住地面積 10km²あたり飲食店数
- ⑬ 観光客総数・宿泊観光客数
- ⑭ 観光客調査 調査対象 地点・行事数
- ⑮ 第1～3次産業別の労働者構成比率
- ⑯ 他市町村への・他市町村からの通勤者の割合
- ⑰ シルバー人材センター会員数
- ⑱ シルバー人材センター粗入会率

●農業の状況について

香取市は農業が盛んであり、耕地面積（田、畑、樹園地面積の合計）と総農家数（販売農家及び自給的農家）は6市の中で最大となっています。また、農業算出額も旭市に次ぐ額となっています。

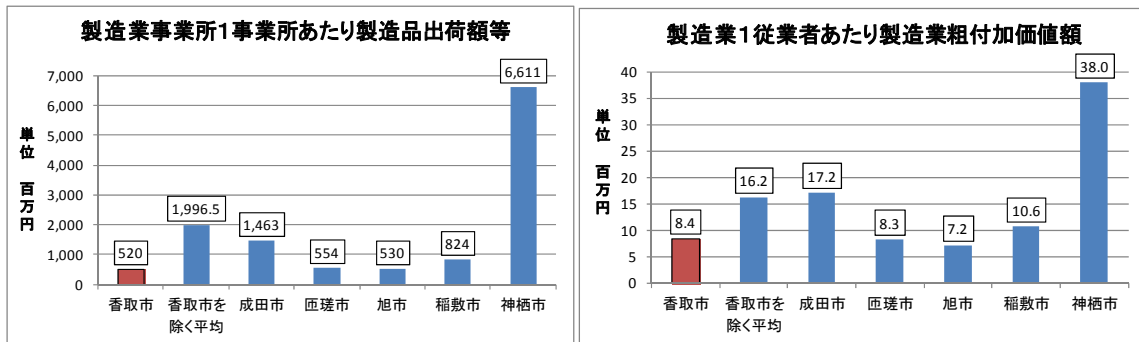
しかしながら、同時に課題も抱えています。ひとつは、耕地面積の広さに比例し、耕作放棄地面積が多くなっています。また、1農家あたり・耕地面積1haあたり農業産出額が比較団体平均よりも低い水準となっています。



出典：農林業センサス（2010年）、千葉県統計年鑑（平成22年）、茨城県勢要覧平成22年度

●製造業に関して

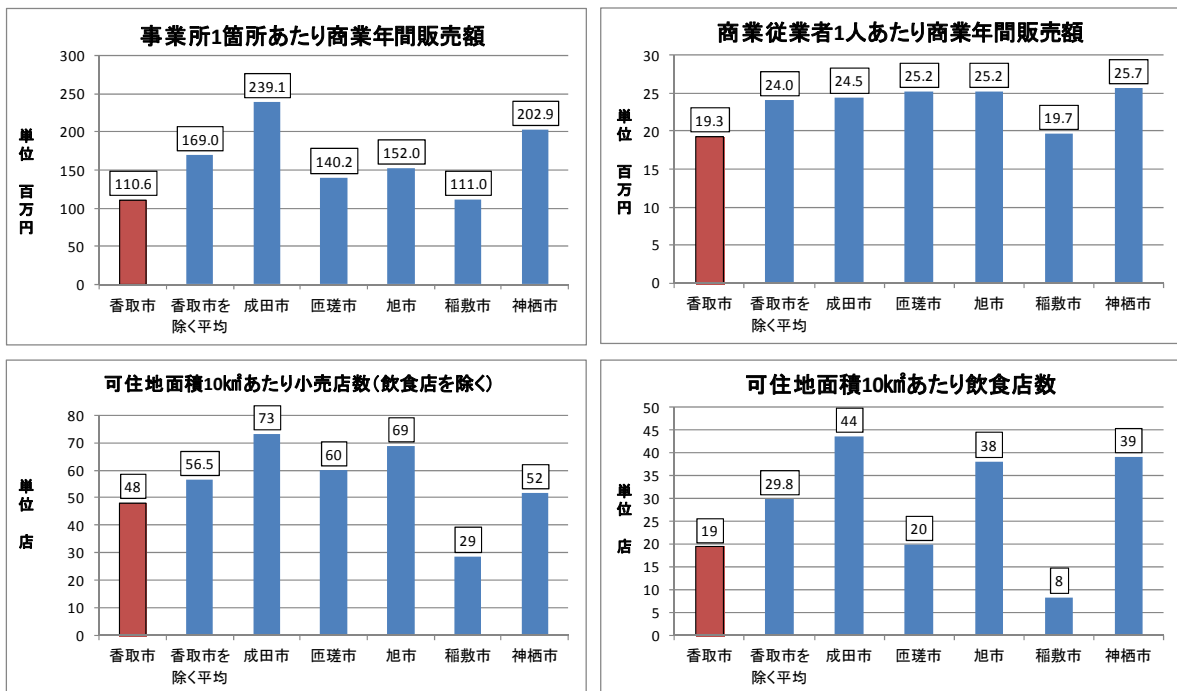
製造業では比較団体のうち鹿島臨海工業地帯に含まれる神栖市の指標値が突出していますが、それを除いても香取市の製造業1事業所あたり製造品出荷額は少なくなっています。また、製造業1従業者あたりの粗付加価値額は比較団体平均より低い水準となっています。



出典：平成21年工業統計表

●商業について

香取市の事業所1箇所あたり商業年間販売額は、比較団体に比べて少なくなっています。また、商業従業者1人あたりの商業年間販売額も比較団体平均より低い水準となっています。加えて、可住地面積に対する小売店、飲食店の数も比較団体平均に比べて低い水準となっています。

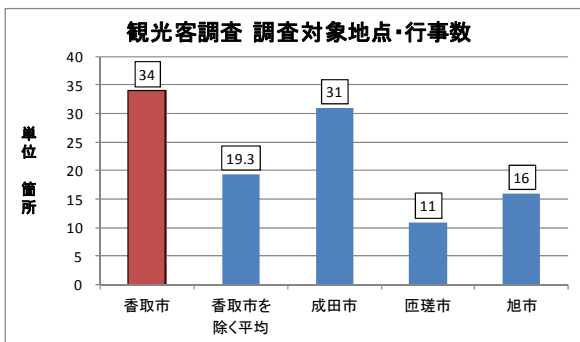
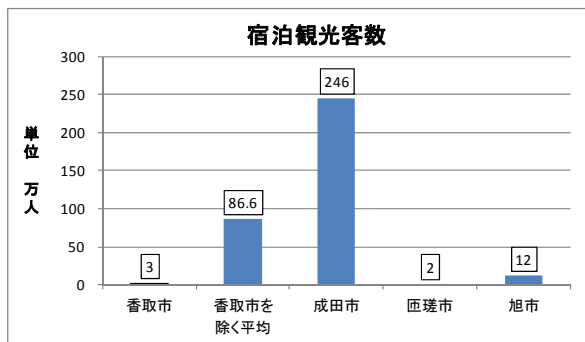
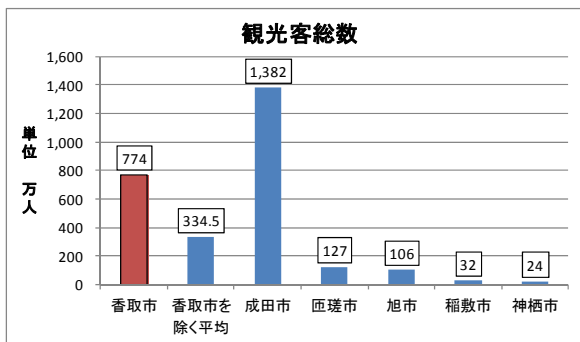


出典：平成21年経済センサス-基礎調査

●観光の推進について

香取市を訪れた観光客数は平成 22 年度に約 774 万人と、6 市の中では成田市に次ぐ人数となっています。観光客入込動向調査は、観光客が多く訪れる箇所や行事を調査対象として設定し、そこを訪れる観光客数を調査することから、香取市はこの調査対象に選ばれた数が比較団体よりも多く、観光資源が豊富であることを示しています。

一方で、香取市に宿泊した観光客数は約 3 万人で匝瑳市に次いで少なく、訪れる観光客数に比べてかなり低い水準に留まっています。

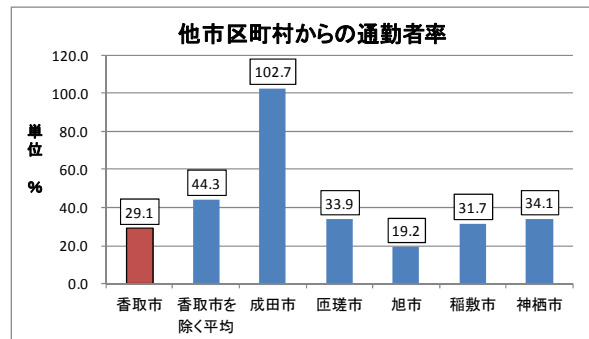
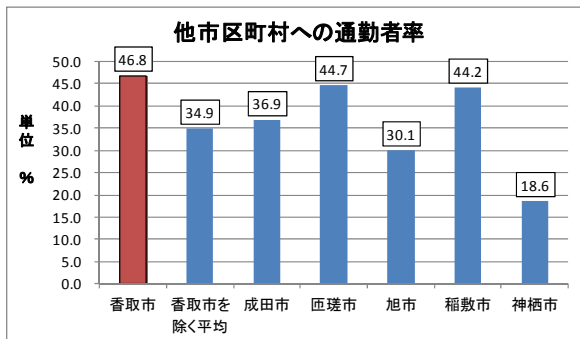
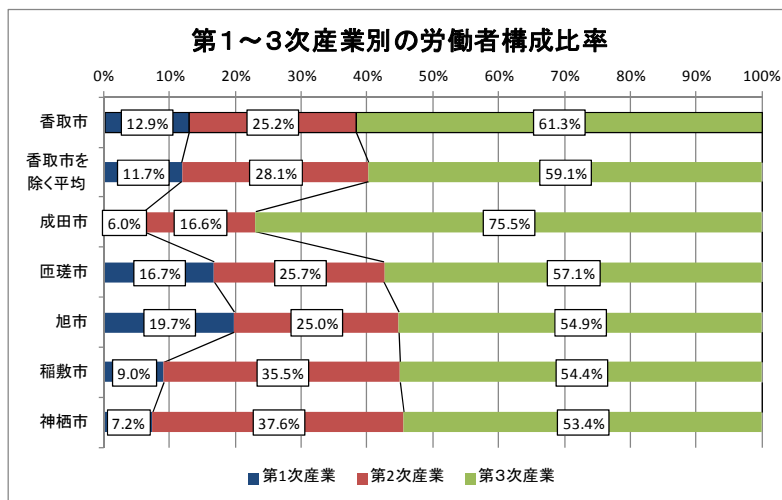


出典：平成 22 年観光客の入込動向について（千葉県）、茨城県勢要覧平成 22 年度
 ※茨城県内の稲敷市・神栖市の宿泊観光客数・観光客調査地点数のデータなし。

●就業状況について

香取市の就業状況を第1～3次の産業別に見ると、比較団体と比べて平均的な構成となっています。なお、比較団体は、第1次産業中心の匝瑳市・旭市、第2次産業中心の稲敷市・神栖市、第3次産業中心の成田市、と特化している傾向にあります。

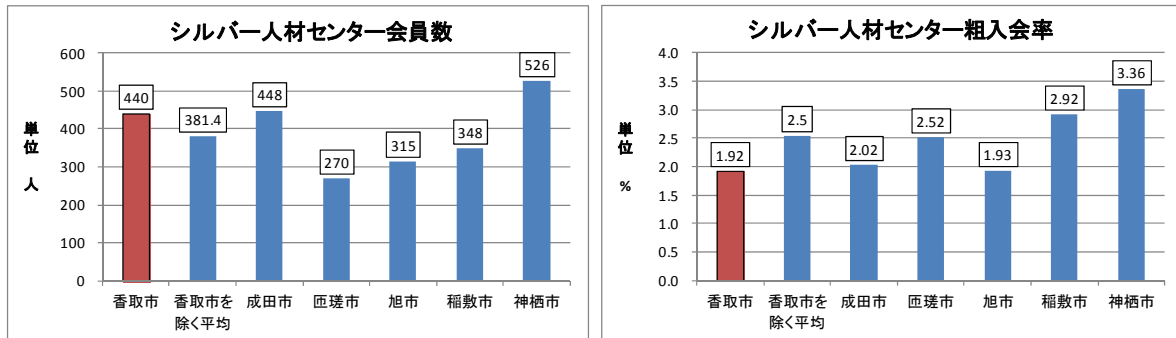
また、香取市は、市内在住の就業者を分母とした場合の他団体へと通勤する労働者の割合が高く、逆に他団体から香取市へと通勤する労働者の割合は低くなっています。



出典：統計でみる市区町村のすがた 2011（平成 17 年度国勢調査データ）

●シルバー人材センター粗入会率

65 歳以上の高齢者のうちシルバー人材センターに登録している会員の割合は、比較団体と比べ低くなっています。



出典：各シルバー人材センターHP

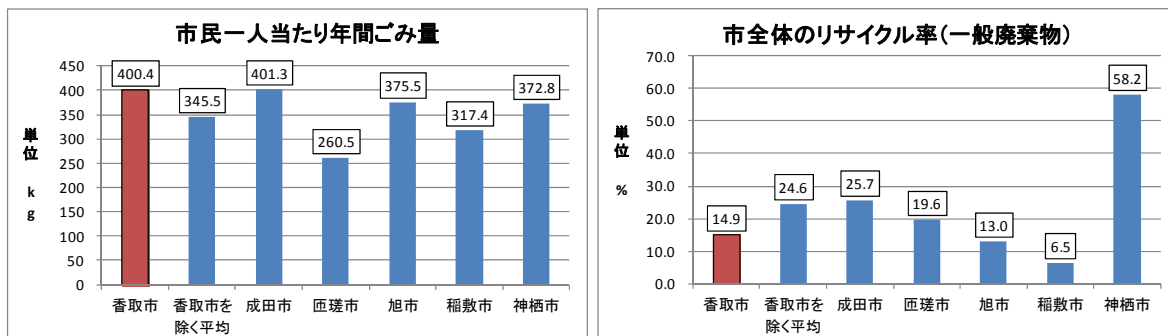
(2) 基本目標2 人と自然が共生し、快適で安心して暮らせるまちづくり

「基本目標2 人と自然が共生し、快適で安心して暮らせるまちづくり」に関連する指標の調査の結果、以下の指標について、香取市の特徴が表れました。

- ① 市民一人当たりごみ量
- ② 市全体のリサイクル率（一般廃棄物）
- ③ 市民1,000人あたり交通事故発生件数
- ④ 市民10万人あたり交通事故死者数
- ⑤ 市民1,000人あたり刑法犯認知件数
- ⑥ 1,000世帯あたり火災発生件数

●市民一人当たりごみ量・リサイクル率について

香取市は、市民一人当たりごみ量は、成田市に次いで多くなっています。加えて、リサイクル率も、比較団体平均より低い水準にあります。



出典：一般廃棄物処理実態調査結果 2009年度版（環境省）

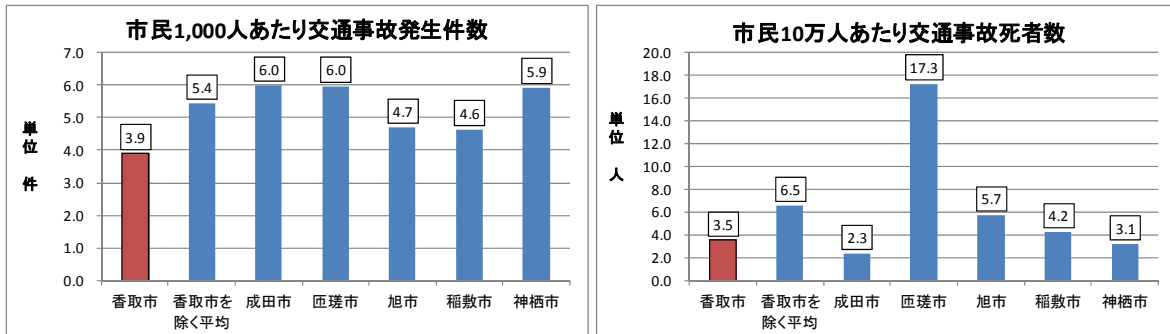
※リサイクル率の定義は次のようになっています。

$(\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再生利用量} + \text{集団回収量}) / (\text{ごみ処理量} + \text{集団回収量}) * 100$

なお、神栖市はごみの燃料化を行っているため、リサイクル率が特に高くなっています。

●交通事故に関して

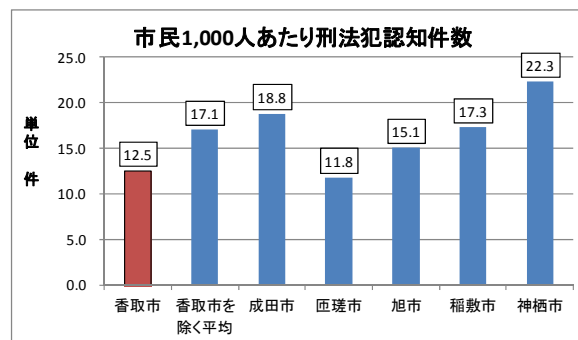
香取市では比較団体に比べて人口あたりで比較した交通事故の発生件数が最も少なく、交通事故死者数も比較団体平均より低い水準となっています。



出典：千葉県統計年鑑(平成22年)・茨城県統計年鑑 ー平成22年ー

●犯罪に関して

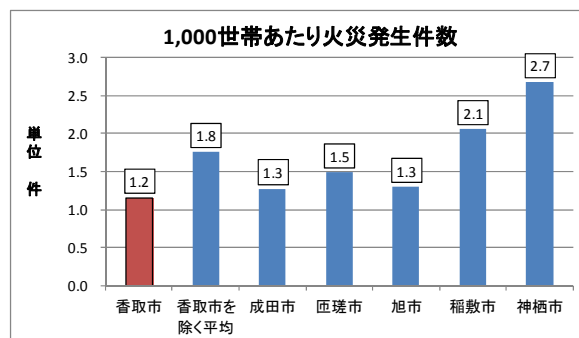
市民1,000人あたり刑法犯認知件数は比較団体と比べて、低い水準にあります。



出典：千葉県統計年鑑(平成22年)・茨城県統計年鑑 ー平成22年ー

●火災発生状況について

1,000世帯あたり火災発生件数は比較団体と比べて、低くなっています。交通事故、犯罪、火災の人口あたりの件数がいずれも低い水準となっています。



出典：千葉県統計年鑑(平成22年)・茨城県統計年鑑 ー平成22年ー

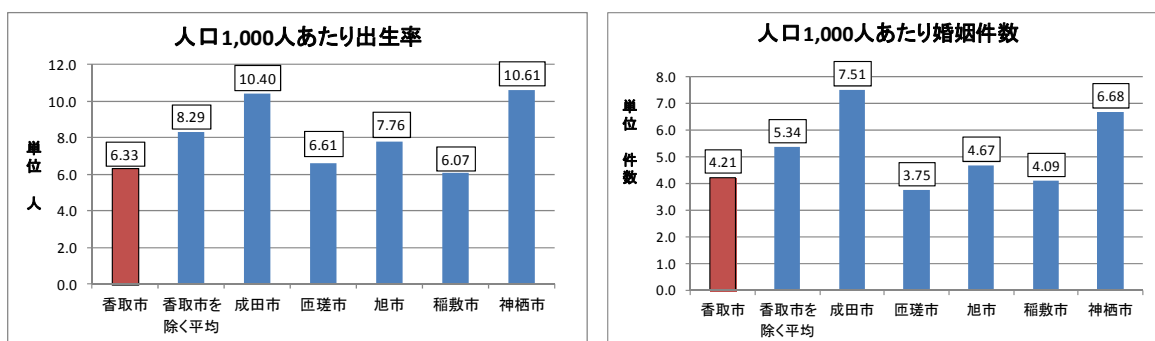
(3) 基本目標3 住み慣れた地域で、誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくり

「基本目標3 住み慣れた地域で、誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくり」に関連する指標の調査の結果、以下の指標について、香取市の特徴が表れました。

- ① 人口1,000人当たり出生率
- ② 人口1,000人当たり婚姻件数
- ③ 0-4歳人口1,000人あたり保育所施設数
- ④ 保育所1施設あたり児童数
- ⑤ 高齢化率
- ⑥ 介護保険第1号被保険者数
- ⑦ 要介護（要支援）認定者数
- ⑧ 第1号被保険者1,000人あたり要介護（要支援）認定者数
- ⑨ 市民1,000人あたり病院数
- ⑩ 市民1,000人あたりの医師数
- ⑪ 市民1,000人あたりの薬剤師数
- ⑫ 市民1,000人あたりの民生委員数

●出生率について

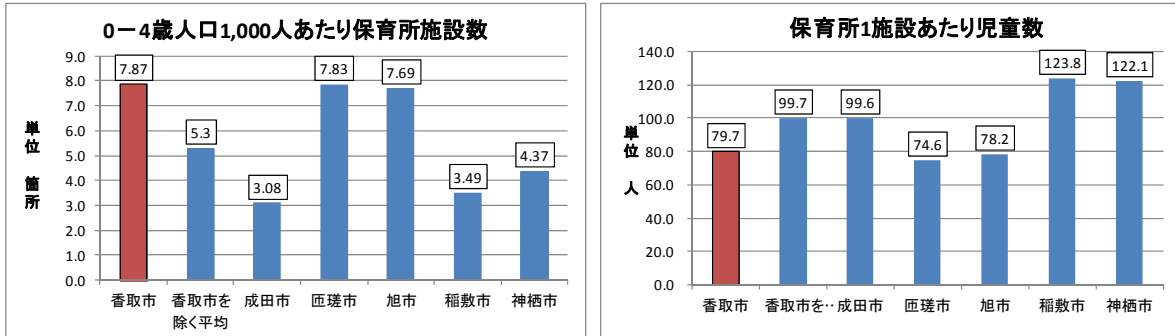
人口1,000人あたり出生率は比較団体と比べて低い水準にあります。また、人口1,000人あたり婚姻件数も比較団体よりも低い水準にあります。



出典：千葉県統計年鑑(平成22年)・各市統計書

●保育所について

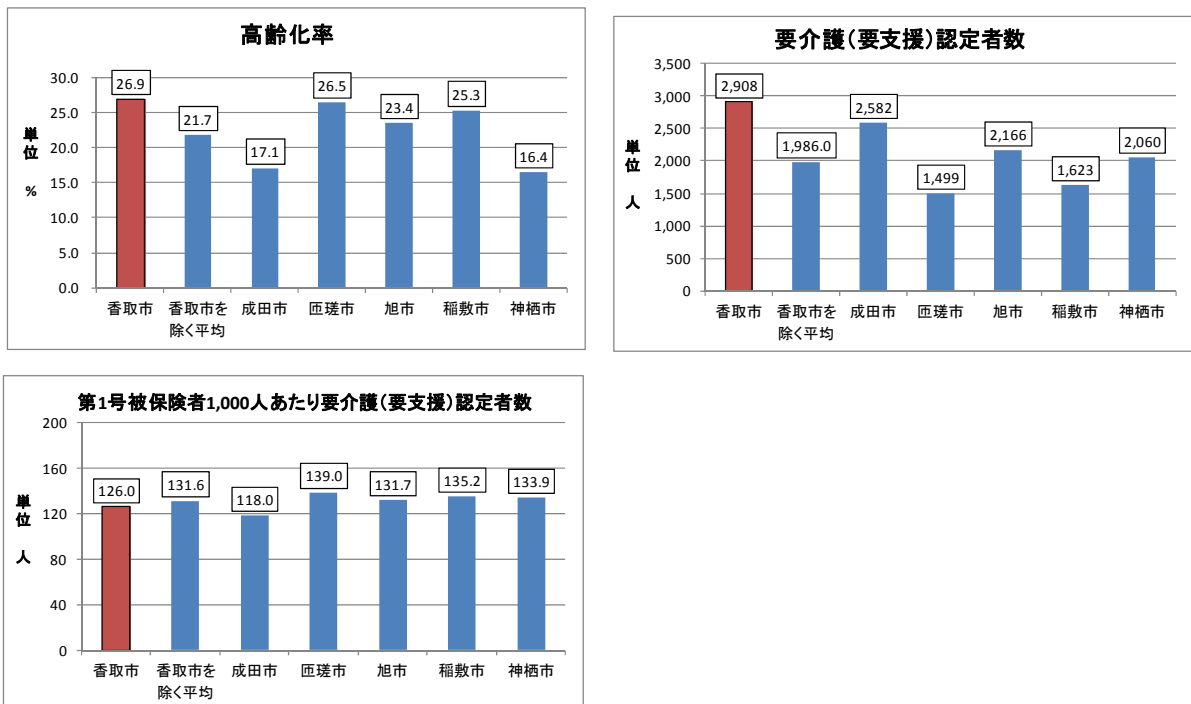
人口 1,000 人あたり保育所施設数は、比較団体と比べて、最も多くなっています。一方で、1 保育所あたりの児童数を見ると、比較団体平均より少なくなっています。



出典：千葉県統計年鑑(平成 22 年)・各市統計書

●介護保険の状況について

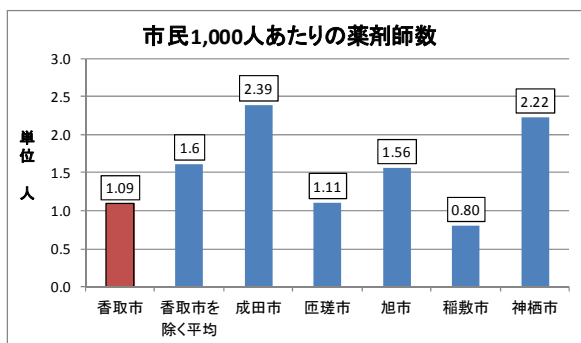
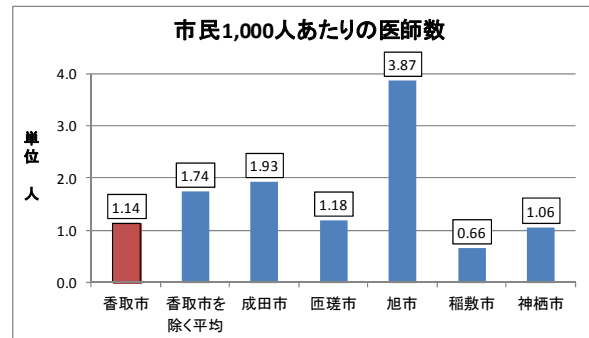
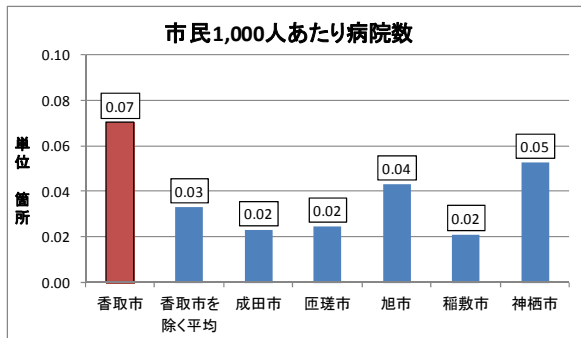
香取市は高齢化が進んでおり、65 歳以上の介護保険の第 1 号被保険者数と、要介護（要支援）認定者数が最も多くなっています。第 1 号被保険者 1,000 人あたり要介護（要支援）認定者数で見ると比較団体平均より低い水準となっています。



出典：介護保険事業状況報告調査（厚生労働省）、第 4 期第一号保険料（保険者別）

●医療体制の状況について

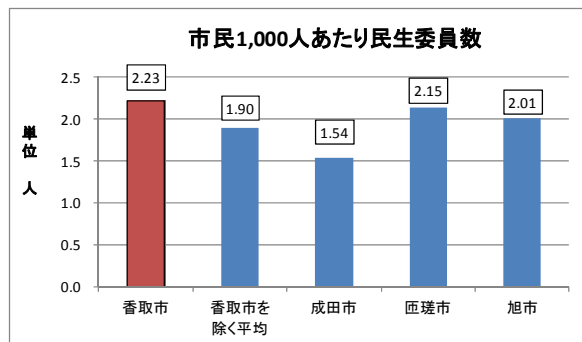
香取市は人口に対して病院数が比較団体より多くなっています。一方、人口当たりの医師数・薬剤師数は、比較団体平均より低い水準となっています。



出典：千葉県統計年鑑(平成 22 年)・茨城県統計年鑑 ー平成 22 年ー、医療施設調査 (平成 22 年)

●民生委員の配置状況について

香取市には定員を満たす 190 人の民生委員がおり、人口あたりで比較すると、比較団体よりも多くなっています。



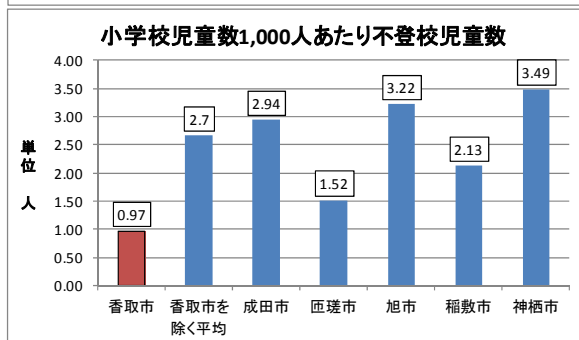
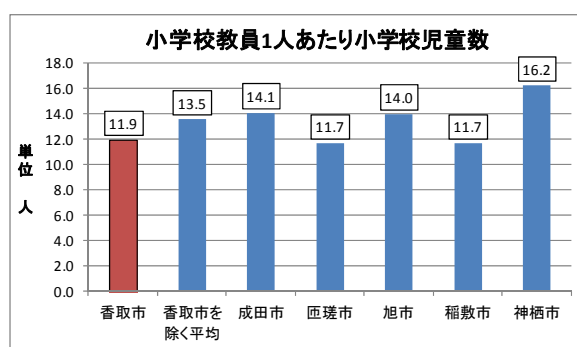
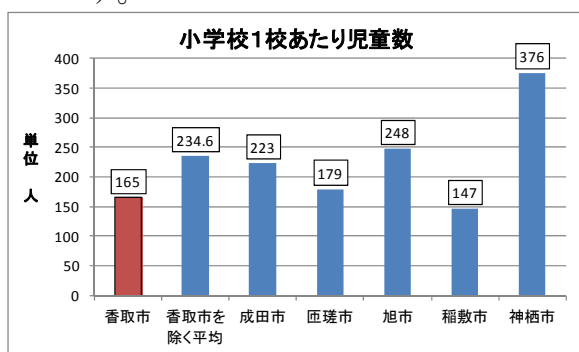
(4) 基本目標4 歴史と文化に包まれて、心豊かな人を育むまちづくり

「基本目標4 歴史と文化に包まれて、心豊かな人を育むまちづくり」に関連する指標の調査の結果、以下の指標について、香取市の特徴が表れました。

- ① 小学校1校あたり生徒数
- ② 小学校教員1人あたり小学校児童数
- ③ 小学校児童数1,000人あたり不登校児童数
- ④ 中学校1校あたり生徒数
- ⑤ 中学校教員1人あたり中学校生徒数
- ⑥ 中学校生徒数1,000人あたり不登校生徒数
- ⑦ 人口1人あたり蔵書冊数（市立図書館）
- ⑧ 市民1,000人あたり個人登録者数（市立図書館）
- ⑨ 個人登録者1人あたり貸出数
- ⑩ 国・県指定文化財数

●小学校について

香取市の小学校は、1校あたりの児童数が比較団体平均よりも少ない水準にあり、また、教員1人あたりの児童数も少ない水準にあります。また、小学校児童数1,000人あたり不登校児童数は比較団体より少なくなっています。

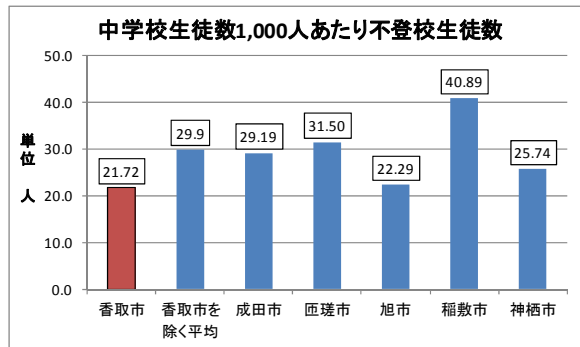
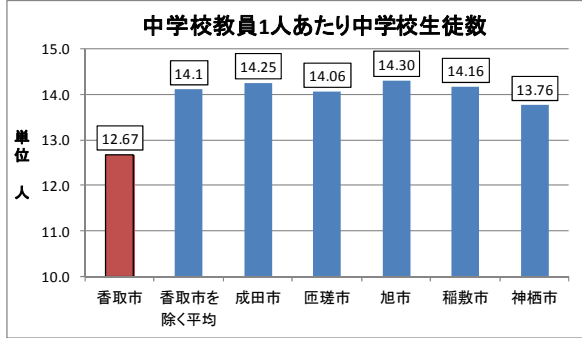
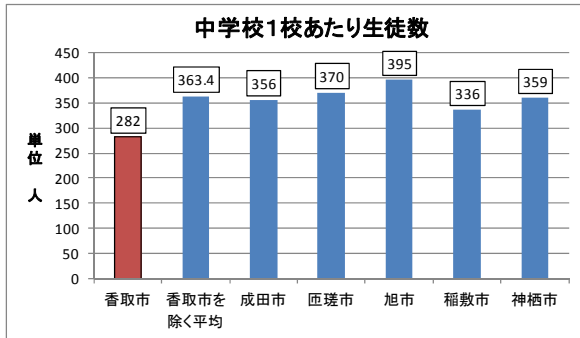


出典：平成23年度学校基本調査結果(千葉県、茨城県)

●中学校について

香取市の中学校は、小学校と同様に、1校あたりの生徒数が比較団体よりも少なく、また、教員1人あたりの生徒数も少なくなっています。

また、中学校生徒数1,000人あたり不登校生徒数は、比較団体より少なくなっています。

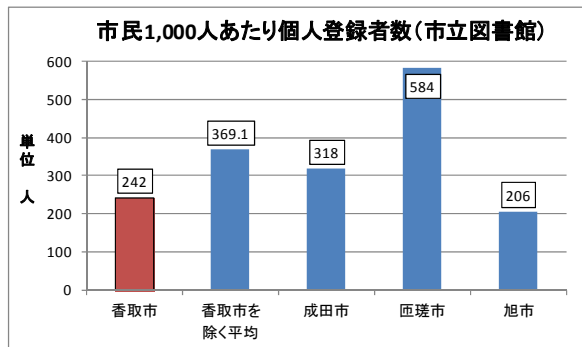
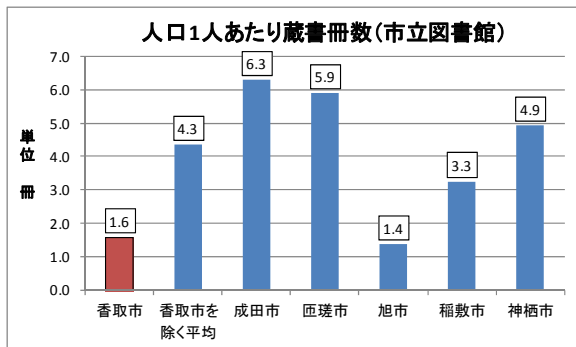


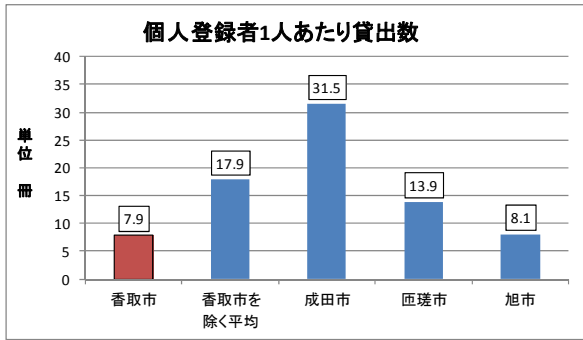
出典：平成23年度学校基本調査結果(千葉県、茨城県)

●図書館の利用状況について

香取市の図書館は2箇所ありますが、1人あたりの蔵書数は、比較団体と比べ少ない水準にあります(23年度の蔵書の増加分は加味されていません。)

また、市民1,000人あたり個人登録者数も比較団体平均より少ない水準にあり、個人登録者1人あたり貸出数も少なくなっています。

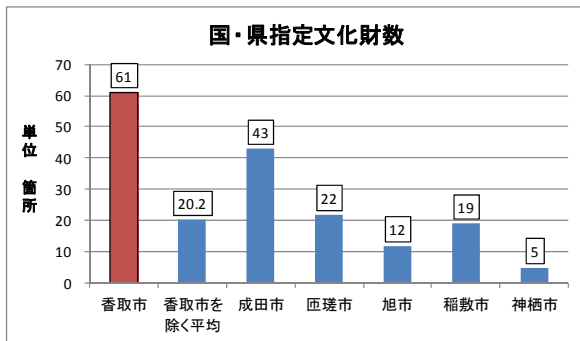




出典：千葉県統計年鑑(平成 22 年)・各市統計書

●文化財について

香取市内にある国・県指定文化財の数は、61 件と比較団体と比べて特に多くなっています。また、そのうち県内に 4 件しかない国宝のうち 2 件が香取市内にあります。



出典：千葉県統計年鑑(平成 22 年)・茨城県統計年鑑 ー平成 22 年ー

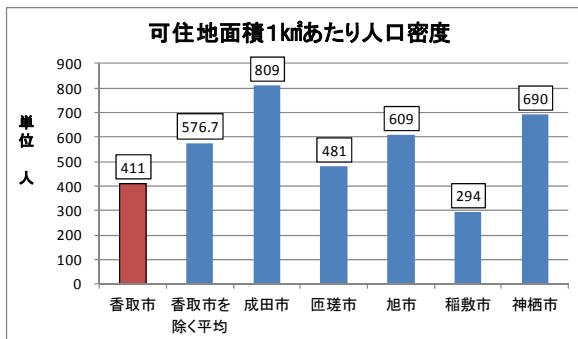
(5) 基本目標5 緑の中で、便利で暮らしやすい機能が充実したまちづくり

「基本目標5 緑の中で、便利で暮らしやすい機能が充実したまちづくり」に関連する指標の調査の結果、以下の指標について、香取市の特徴が表れました。

- ① 可住地面積1km²あたり人口密度
- ② 持ち家率
- ③ 空き家率
- ④ 単独世帯割合
- ⑤ 高齢単身者世帯の割合
- ⑥ 1,000世帯あたりの公営住宅戸数（県営・市営）
- ⑦ 水道事業 有収率

●住地面積1km²あたり人口密度

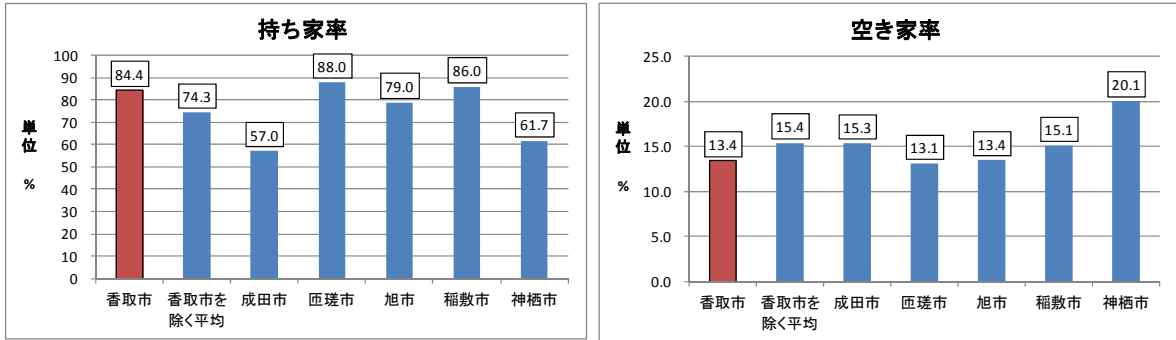
香取市では、比較団体に比べ、可住地面積あたりの人口密度が低い水準にあります。



出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成23年3月31日現在）

●市民の住居の特徴

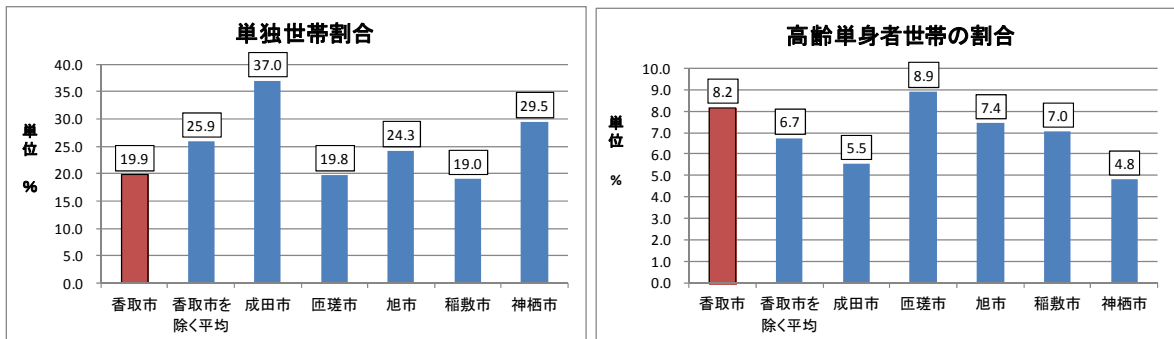
香取市民の住居の特徴として、持ち家率が比較団体と比べ高い水準となっています。また、香取市の空き家率は、比較団体平均より低い水準となっています。



出典：平成 20 年住宅・土地統計調査

●家族形態の特徴

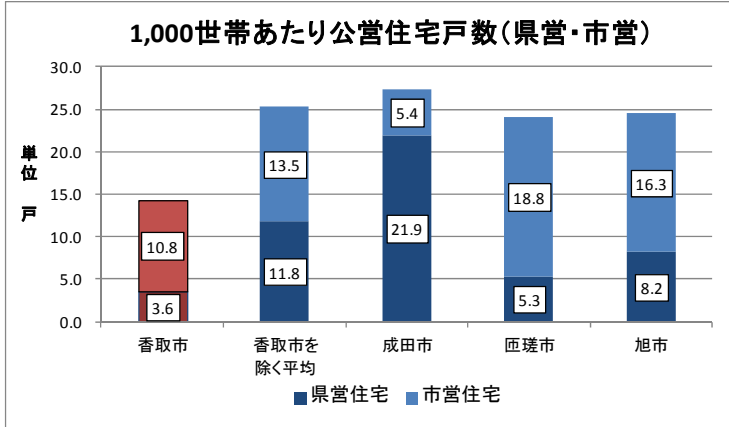
香取市の特徴として、単独世帯の割合が比較団体に比べ低い水準となっています。一方、65 歳以上の高齢単身者世帯の割合は、比較団体平均よりも高い水準となっています。



出典：平成 22 年度国勢調査

●公営住宅について

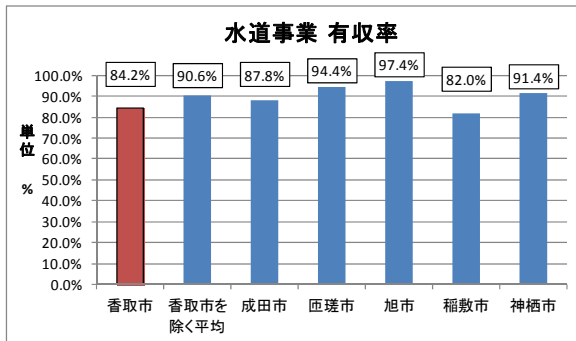
香取市は 1,000 世帯あたりの公営住宅戸数が比較団体よりも少なくなっています。他市の状況では、成田市は県営住宅が多く、匝瑳市と旭市では市営住宅が多いという特徴があります。



出典：県営住宅空家入居募集案内等

●水道事業の効率性について

香取市の水道事業の有収率は 84.2%と、比較団体の中で2番目に低くなっています。



※ 有収率：配水した水のうち、料金の対象となった水の割合で、数値が高いほどよいとされます。

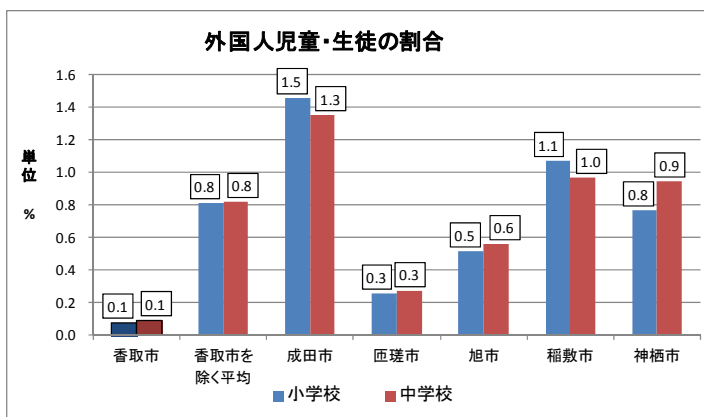
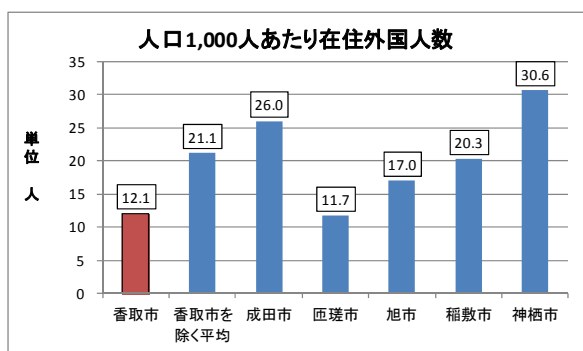
(6) 基本目標6 人と自然が共生し、快適で安心して暮らせるまちづくり

「基本目標6 人と自然が共生し、快適で安心して暮らせるまちづくり」に関連する指標の調査の結果、以下の指標について、香取市の特徴が表れました。

- ① 人口1,000人あたり在住外国人数
- ② 小学校児童・中学校生徒のうち外国人児童・生徒の割合
- ③ 転入者比率・転出者比率

●在住外国人について

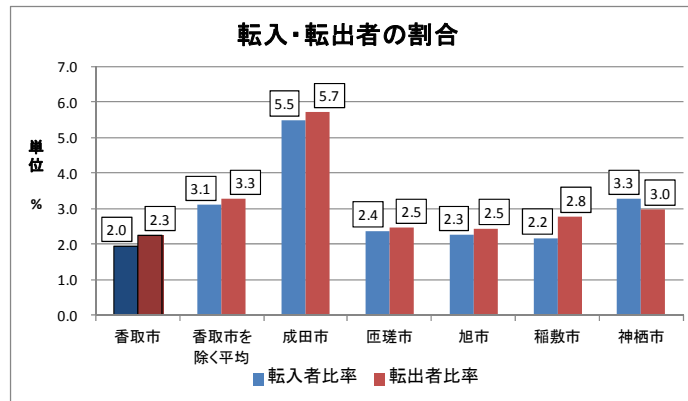
人口1,000人あたりの在住外国人の人数は、比較団体平均より低い水準にあります。小中学校においても同様で、外国人の児童・生徒の割合は、比較団体と比べ特に少なくなっています。



出典：千葉県県勢要覧 2010（平成 22 年度版）・茨城県統計年鑑 ー平成 22 年ー
平成 23 年度学校基本調査結果(千葉県、茨城県)

●転入・転出者について

香取市は、住民の転入・転出する人の割合が比較団体と比べ低く、安定して住み続けるまちとなっています。また、転入者よりも転出者が多い社会減少の状態にあります。



出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成 23 年 3 月 31 日現在）